

〈著者紹介〉

石田光男（いしだ・みつお）

1949年生まれ

東京大学経済学部卒業。東北大学大学院経済学研究科修士課程修了，東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学（博士経済学 東京大学）。同志社大学文学部社会学科教授，社会学部教授を歴任。1998年社会政策学会奨励賞（『日本のリーン生産方式』），2003年社会政策学会学術賞（『仕事の社会科学』），2009年平成21年度労働関係図書優秀賞（『日本自動車企業の仕事・管理・労使関係』），令和4年度冲永賞（『パナソニックのグローバル経営』）

現 在：同志社大学名誉教授，国際産業関係研究所所長

主 著：『パナソニックのグローバル経営』（共編著）ミネルヴァ書房，2022年

『労働時間の決定』（共著）ミネルヴァ書房，2012年

『GMの経験』（共著）中央経済社，2010年

『人事制度の日米比較』（共著）ミネルヴァ書房，2009年

『仕事の社会科学』ミネルヴァ書房，2003年

『日本のリーン生産方式』（共著）中央経済社，1997年

『賃金の社会科学』中央経済社，1990年

『現代イギリスの労使関係（下）』（共著）東京大学出版会，1988年

訳 書：オリバー・E・ウィリアムソン『ガバナンスの機構』（共訳）ミネルヴァ書房，2017年

ほか著作論文多数